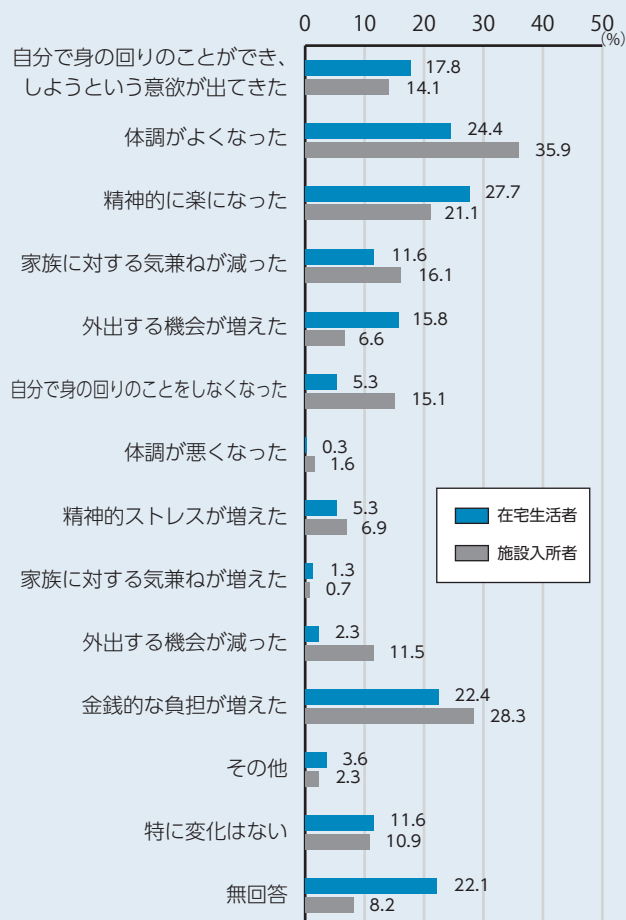


④介護保険サービスの利用による生活の変化について (回答者：65歳以上の要介護3～5の認定者)

問 介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか(複数回答可)。

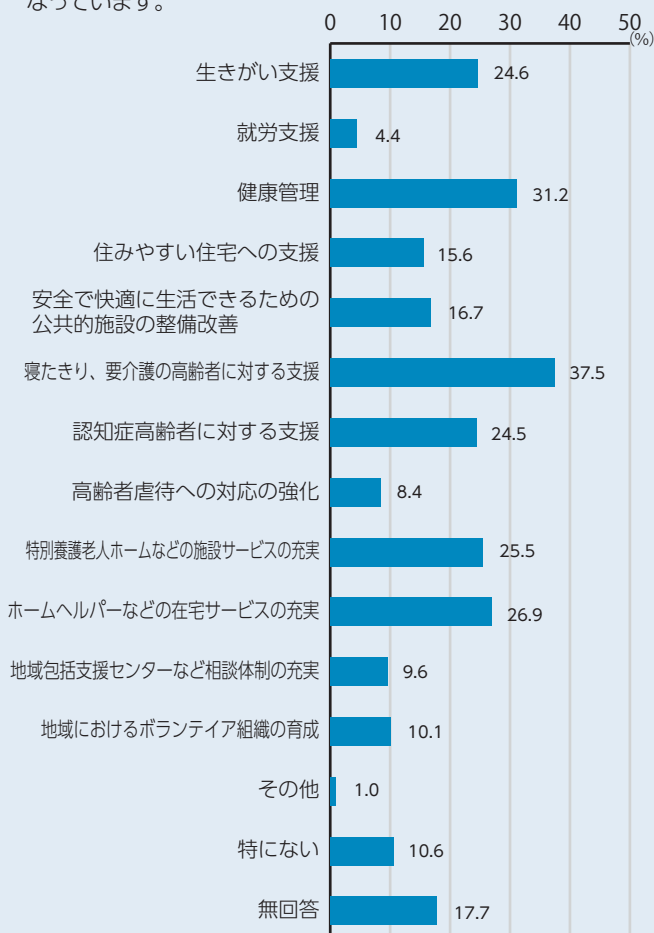
在宅生活者で「精神的に楽になった」、施設入所者では「体調がよかった」が上位になっていますが、一方で「金銭的な負担が増えた」と回答した人も多くいます。



②力を入れてほしい高齢者福祉施策 (回答者：一般高齢者と軽度認定者)

問 市が行うこれから的高齢者福祉施策で、力を入れてほしいと思うものはどれですか(複数回答可)。

「寝たきり、要介護の高齢者に対する支援」が最も多く、次いで「健康管理」「ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実」となっています。



次期計画の策定委員を公募します

旭市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画を策定するため、本年度、策定委員会を設置します。委員会は、保健・医療・福祉の関係者および40歳以上の介護保険被保険者の代表者で組織します。会議は年3回程度開催し、策定に向けて協議します。

募集期間／7月4日(月)～15日(金)

応募資格／市内に1年以上住所がある40歳以上の人

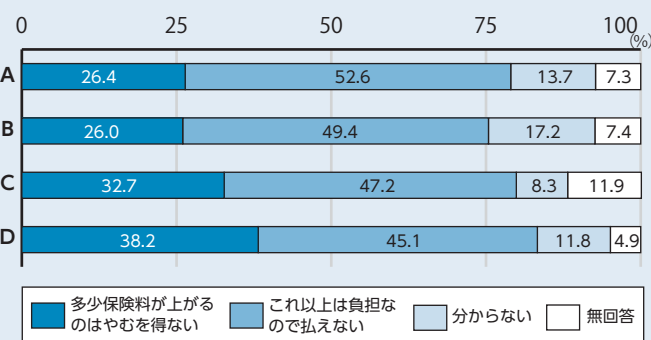
募集人数／3人

③保険料について (回答者：介護支援専門員を除く全員)

問 今後高齢化が進み、介護保険を利用する人も増えていくことが予想されます。そうすると、介護保険の財源もさらに必要になり、保険料が上がる可能性があります。このことについてどう思いますか。

「多少保険料が上がるのはやむを得ない」と約3～4割の人が回答していますが、約5割の人が「これ以上は負担なので払えない」と回答しています。

A一般高齢者／B軽度認定者／C65歳以上の要介護3～5の在宅生活者／D65歳以上の要介護3～5の施設入所者



申し込み・問い合わせ先

〒289-2595
旭市二の1920
高齢者福祉課介護保険班

☎ 62-5308
FAX 62-2170

✉ kaigo@city.asahi.lg.jp

申し込み方法／高齢者福祉課にある「委員公募申込書」に必要事項を記入し、提出(郵送、ファクス、メール可)。※郵送の場合は、15日(金)の消印有効。

選考方法／書類選考(場合により面接)

結果通知／郵送

より良い高齢化社会実現のため

「高齢者に関するアンケート」

結果公表

皆さんとつくる次期計画

市では、介護保険事業の円滑な給付に向けた取り組みを進めるとともに、高齢者の生活を地域で支えるため、予防・医療・生活支援サービス・住まいなどを一体的に提供していく「地域包括ケア」の取り組みを進めています。

今回、平成24年度から始まる「旭市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」を策定するため、アンケートを実施したので、主な結果を公表します。

【アンケート実施時期】

平成23年1月～2月

【アンケート結果の表し方】

質問の有効回答者数を基数とした百分率(%)で表しています。小数点以下第2位を四捨五入しているので、100%にならない場合があります。また複数回答形式の場合、100%を超えることがあります。

調査の回答数と回収率

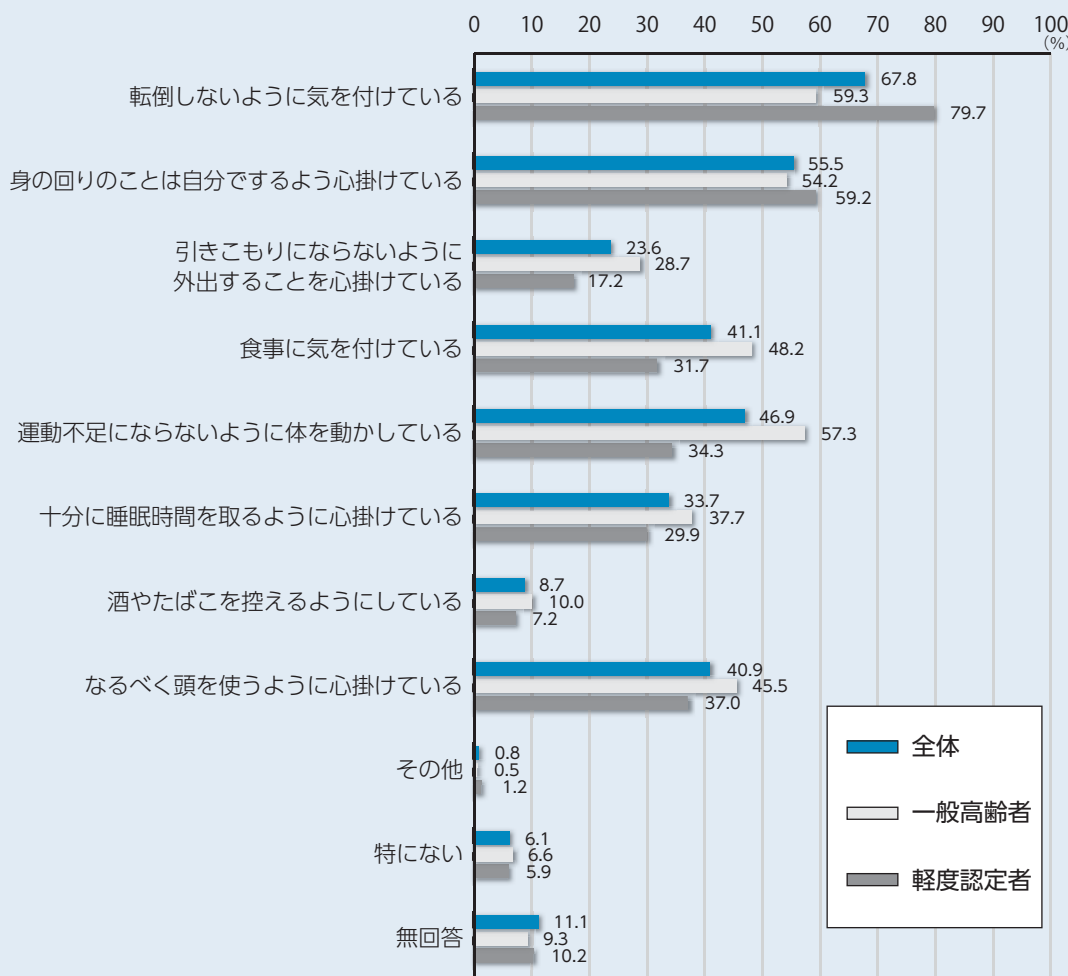
調査対象	配布数 (人)	回答数 (人)	回収率 (%)
65歳以上の人(一般高齢者)と 要支援・要介護1～2の認定者 (軽度認定者)	2,535	1,609 (1,579)	63.5 (62.3)
65歳以上の要介護3～5の認 定者	1,071	646 (614)	60.3 (57.3)
介護支援専門員	56	46 (46)	82.1 (82.1)
合 計	3,662	2,301 (2,239)	62.8 (61.1)

※()内の数字は有効数

①日常生活について (回答者：一般高齢者と軽度認定者)

問 日常生活で気を付けていることはありますか(複数回答可)。

「転倒しないように気を付けている」と回答した人が最も多く、一般高齢者で約6割、軽度認定者では約8割もいます。そのほかに、身の回りのことを自分でできるよう心掛けている人が多いようです。



問 あなたは、日常生活で見守り支援を必要としていますか。

「必要」と回答した人は、全体では約1割に過ぎませんが、一人暮らし世帯で5割近くの人が「必要」と回答しています。

